

東雲(しののめ)

vol.41(282)

夏休みが始まり、夏本番を迎え、一番暑い季節になりました。8月です。今年は久しぶりに様々な行動制限が解かれ、「のびのびできるかも…」と、思ったところでの新型コロナウイルスの第7波の襲来。一抹の不安は感じながらも、行動制限はかからないよう…。しかし私たちは自分の出来ることをしっかりして日々を過ごすようにしましょう。思えば去年の今頃は東京オリンピックでした。「こんな感じなら無観客でなくても良かったんじゃない？」とか、今更ながらに思ったりもしますが…。この夏の楽しみはどこに見つけよう??なんて考えて毎日過ごしています。



夏休みが始まって2週間くらい、毎年みんなの話を聞いてると、時期的に学校がある時期の早起きの習慣が無くなりかけてくる頃です。早起きの習慣は無くさないように心掛けてください。夏休みの宿題は順調に進んでいますか？ 大量に出された宿題を前にして、大人は宿題やテストが無くていいな—とか、思っていますか？ 確かに、大人は数学の勉強や読書感想文には悩まされることはありません。けれど、本当に大人は日々の宿題は消え去ったと言えると思いますか。いつまでに仕事を終えなければいけないとか、読みかけの資料を整理しなければならないとか、家の部屋の掃除をしなければならないとか、毎日の献立を考える…。などなど、大人もそれぞれに課題を抱えているものなのです。さらに、私たちの時代とは違って今の大学生たちも、中学生・高校生以上に宿題を抱えています。そもそも、宿題は人間が自分を進歩させたり、何かを改善したりするためには欠かせないもの。いわば、人生の目標と切っても切れない仲と言うこともできるのです。私たちが、そんな前向きな気持ちを失わない限り、いつまでも宿題は課されていくことになるのです…

本題は、学生さんの宿題の話です(ここは塾ですから)。きちんと頑張って全部やっってくださいね。主要5科目の宿題は早めに一度終わらせてから、夏休みの後半にもう一度確認できるくらいの余裕が欲しいものです。7月、塾では自由に学校の宿題をやってもらっていましたが、9月の半ばに定期テストのある学校の子どもは、そろそろテスト範囲の暗記などのテスト勉強に入っていきたいと考えています。したがって、夏期講習で1日中、塾にいる子どもは別にしてそうでない人は家での学習時間をきちんと作るように！ 勉強時間が夜の通常授業だけでは、あまりにも少ないですよ。そして、お盆前には宿題はある程度の目途が立つようにしておいてください。一日当たりのやらなければならない量の宿題を計算して学習していきましょう。毎年、夏休みの終わりに「間に合わない！」と言いながら、必死に宿題をやる人がいますが、くれぐれもそうはならないように！



終業式の翌日から始まった夏期講習。夏休みの塾の風物詩のひとつとも言えます。毎年、受験生を中心に頑張ってくれていますが、今年もしっかり？その傾向は続いています。中には、夏期講習の申し込み忘れた人や、思うように家では勉強できないな—という人がいるかもしれません。夏休みの時間は、まだまだ1カ月近く残っていますから夏期講習への参加は間に合います。

その夏期講習ですが、少々日程の変更をお願いします。8月5日に夏期講習を行って、翌6日をお休みに、さらに8月22日をお休みにして、29日に夏期講習を行います。また、8月11日～16日と24日は夜の通常授業をお休みにさせていただきます。以上、よろしくお願いいたします。

長い夏休みをただ漫然と勉強するのではなく、目標・目的をもってきちんと生活してもらいたいです。どんなに大きな目標でも、まずはそれを目標としなければ達成することなどできませんから。何かを成し遂げる夏休みとして、苦手な科目の克服にかけてみるのも良いかもしれません。

8月28日の日曜日には、中3生対象の模擬試験を予定しています。夏期講習への参加の有無に関わらず、中3生には参加してもらいますのでよろしくお願いいたします。

夏休みというか、8月中の個人的な楽しみの一つがペルセウス座流星群。今年は極大(一番多くの流れ星が期待できる時間)が日本では8月13日の昼間ということで、その前後の夜、12日と13日の夜が流れ星がたくさん見える日になりそうです。ただし、これらの日の夜はいずれも月が満月に近くて夜空を明るく照らしているため、月を背にするなど視界から隠して空を見上げるようにしましょう。15分くらい空を眺めていると暗さに目が慣れてきて、たくさんの流れ星が見られるかもしれませんよ。日本では、このペルセウス座流星群を皮切りに年末の双子座流星群まで様々な流星群が続きます。願い事が、まだまだたくさんある私にとってはこれからが楽しみな時間のスタートです。あ、夜空を見上げるときは、その前に早口言葉の練習を忘れないように！！

